

# 「ちょっと聞いてよ！」

## 第53回 かわかつ はるか 川勝 暖香さん (デイセンターぼれぼれ)



楽しかった!

「何が一番楽しかったんですか? 観覧車!」

「家ではどう過ごしていましたか? テレビ!」

「どんなテレビを見ていますか? 相撲! おかあさんというしょ!」

「好きなことはありますか? 嵐(アイドル)が好き!」

「嵐で誰が一番好きですか? 相葉くん!」

「あじさい園ではどんな仕事をしていますか? さをり織り!」

「さをり織りの仕事はどうですか? 好き!」

「あじさい園では工賃がありますね。工賃はどんな風に使っていますか? 嬉しい! (工賃をもらって) 買ってるよ!」

「(あとで)ご家族にお尋ねすると、嵐のグッズを買ったり、貯金をしたりしているそうです) 旅行に行きましたが、どうでしたか?」

「ぼれぼれの給食はどうですか? 好き!」  
「好きな食べ物は何ですか? お肉!」

### 第48次国会請願署名・募金運動にご協力お願いいたします!

今年も国会請願署名・募金運動が始まりました。

昨年に続き12月6日に『がんばるDAY(取り組みのスタートとして、街頭に立ち、署名・募金活動をよびかける運動)』が行われました。当日は寒さの厳しい一日となりましたが、「署名・募金お願いします」と仲間の元気な声も響き、良いスタートが切れしました。「何の署名ですか?」「大変ですががんばってくださいね」と、署名の説明やメンバーの声をしっかり聞いてくださる方もいて、改めて声を出す、届ける大切さを実感しました。2月からは街頭署名活動も本格的にスタートします。お一人おひとりに私たちの願いや思いを訴えていきたいと思えます。第48次の署名の請願項目は6つあります。どれも私たちの願いや思いがいっぱい詰まった請願項目です。「あたりまえに働き 選べる暮らしを」は今年も大きなスローガンです。

署名・募金活動を通し障害のある人の「今」を広く理解、共感してもらうために、亀岡福祉会では今年も署名推進委員会を中心に署名・募金運動を展開していきます。是非とも多くの方のご協力をよろしくお願いいたします。



1. 優生思想や障害による差別や偏見を根絶するために、国は責任をもって、国会の謝罪決議と補償法をひろく周知し、優生保護法問題を全面的に解決してください。
2. 障害のある人の生活水準を「他の者と平等」にするために、障害年金を大幅に引き上げるとともに、家族依存から脱却できるための福祉制度を拡充してください。
3. 事業の存続が危ぶまれる職員不足を解決し、障害のある人への支援を安定させるために、障害報酬の時間払いと日額払いをただちに見直し、基本報酬を大幅に拡充してください。
4. 障害のある人や子どもの障害福祉事業や補装具等の自己負担をただちに廃止してください。
5. 障害のある人が65歳になっても、自己負担なく、必要な支援を自ら選べるようにしてください。
6. 欠かせない役割を發揮している地域活動支援センターについて、国は実態を調査し、安定して運営・支援できるよう、国の責任で制度を拡充してください。



地域とつながる



# 大人も子どもも楽しめる！ まるまるマルシェ&のうつくマルシェ

11月10日(日)にギャラリーかめおかにて「まるまるマルシェ&のうつくマルシェ」を開催しました。今回のマルシェは、公益財団法人生涯学習かめおか財団さまより、毎年のマルシェの様子をご覧になり、「亀岡市民文化祭」の一つとしてぜひ盛り上げてほしいと、ありがたい声をかけていただき開催することとなりました。



「まるまるマルシェ」は、第三かめおか作業所のお菓子を販売してくださっている「もみじの木の雑貨屋とカフェ yoo」さんとの共催で開催してきました。手作り雑貨の作家さんや「NPO法人亀岡子育て支援ネットワーク」さまによる子供服のリサイクル、「放課後等デイサービスなないろ」さまによる、みんなでもみの木をつくろうと

いうワークショップ、「紙芝居サークルたんたかたん」の皆さんによる紙芝居、絵本のリサイクル販売、子どもさんが店長を務める「子どものお店屋さん」など、大人も子どもも楽しめるマルシェとなりました。



「きょうと農福連携センター中サテライト」が主催となり今年で7回目の開催となりました。圏域の福祉事業所6事業所が出展し、地元で採れた新鮮野菜や加工品、スイーツなどを販売しました。

第三かめおか作業所のお菓子づくりや清掃作業、農福連携などを通じて広がったつながりは「まるまるマルシェ&のうつくマルシェ」を通じて、さらに地域のみなさまとの関わりを深め、新たなつながりに広がっています。これからも障害のある人の「はたらく」ことを様々なかたちで地域全体に発信していきたいと思えます。

マルシェの開催にあたりご協力くださいました皆さま、ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

のうつくマルシェ(京都丹波農福マルシェ)は、亀岡福祉社会が事務局を務める



# 職員に聞きました!

## 支援員はどんなお仕事?

### デイセンターほればれ編



**Q.** デイセンターほればれでの支援員は、どんな仕事ですか?

**A.** メンバーの食事やトイレ、入浴など生活を支える支援、レクリエーションや音楽、体をうごかす体操の活動などを一緒におこないます。

**Q.** 支援員の仕事で楽しい事はありますか?

**A.** メンバーと一緒にゲームをしたり、話をしたりして、笑顔が見られると嬉しいです。

私は体操を担当しています。毎週水曜日、みんながぞえながら踏み台昇降をしたり、「今日は何の日?」というクイズを用いて頭の体操などをしています。続けるうちに、メンバーも体力がついてきたように感じます。

**Q.** 支援員の仕事で苦手な事はありますか?

**A.** メンバーの希望を聞かせてもらったものの、希望どおりにできなかった時、時間の都合で中断しないといけない時はつらいです。

**Q.** 亀岡福祉会で働こうと思ったきっかけがあれば教えてください。

**A.** 怪我をして数年間仕事を休んだ後に、何か医療関係の仕事があればと思い、ハローワークで探しました。たまたま自宅の近くに求人があったので応募しました。福祉関係の仕事は初めてでしたが、楽しいです。

**Q.** 将来の夢はありますか?

**A.** メンバーそれぞれ個性があって、対応もそれぞれ違うことが分かってきました。一般社会でも同じ様に対応できるようにになりたいです。

### ご寄付

11/12 京都丹波農福マルシエ様

12/16 株式会社 能勢工務店様

12/17 株式会社 佳長様

ありがとうございました。

### 時

早いもので、京都サンガがきっかけで亀岡に引越してきて、そして亀岡福祉会に入職して令和6年の12月で4年目になりました。この4年間でたくさんの方たちと触れ合い、大変な事もありつつ、しかし楽しく充実した日々を過ごすことができたと思います。

私が、亀岡に引越してくるきっかけとなった京都サンガのホームスタジアムであるサンガスタジアムこと、サンガスタジアムby KYOCERA(京セラ)は、日本全国にたくさんあるサッカースタジアムの中で、唯一サッカーチームの名前が付いているスタジアムだそうです。すごいですね。

とスタジアムの豆知識はこれくらいにしときまして、令和6年の夏に、亀岡が誇るサンガスタジアムで、京都サンガと試合をした海外のサッカーチームを皆さんはご存じでしょうか?

「VfBシュトゥットガルト」というドイツのチームです。そのシュトゥットガルトも所属している、ドイツのプロサッカーリーグが出てくる映画、「僕とパパ、約束の週末」が、先月公開されています。自閉症スペクトラム障がいと診断された子供、ジェイソンさんが、好きなサッカーチームを見つけたために父親と一緒に、ドイツ中のスタジアムを巡るといってお話の映画です。実話を基にしている映画だそうです。私も観ましたが、第三者からは見えにくい障がいを持ったお子さんと、そのご家族の思いや葛藤、苦悩などがリアルに描かれていて、とても勉強になる映画であると同時に、ジェイソンさんが、苦手としていること(にぎやかな場所、知らない人に触られる等)にたくさん合いながらも途中でスタジアムを後にせず、がんばりながらも最後まで試合を観戦すると自分で決めた姿、知られていないがゆえにクラスメートから嫌がらせを受けたり教師からは問題児扱いされたりすると気付いてみんなの前で自分が抱えている障がいについて説明する姿に勇気と感動をもらえる映画でした。とても勉強になる素晴らしい映画ですので、見て損はないと思います。

(丁)